

<別紙> 創立 100 周年記念事業 平成 23 年度予算書

1 創立 100 周年記念事業の収入

- | | |
|----------------------|---------------------|
| (1) 澤基金の取り崩し | 31 万 1367 円 |
| (2) 100 周年記念事業積立金の残高 | 58 万 8633 円 |
| ○寄付金合計：1299 万 7000 円 | ○利息：3613 円 |
| ○基金取り崩し：466 万 592 円 | ○既執行分：1707 万 2572 円 |

寄付金1299万7000円＋利息3613円＋基金466万592円－既執行1707万2572円＝58万8633円

平成 23 年度予算 収入合計 90 万円

2 懐徳堂記念会創立 100 周年記念事業の内容

- | | |
|--------------------------------------|------------------|
| (1) 阪大リーブルの刊行助成（大阪大学出版会） | |
| ◆刊行助成費 | 30万円（④懐徳堂ゆかりの絵画） |
| (2) 会誌『懐徳』80号「100周年記念シンポジウム」特集号の費用補填 | |
| ◆特集号の費用補填 | 60万円 |
| □刊行費用 | 120万円 |
- （60万円は通常経費から支出、60万円が100周年記念事業からの補填）

平成 23 年度予算 支出合計 90 万円

(参考) 創立 100 周年記念事業 平成 20・21・22 年度実施分

I 懐徳堂の史跡整備 (総額375万円)

- (1) 墓石修復 ①五井蘭洲 (実相寺) →平成20年度執行 (100万円)
②中井蕉園・履軒・碩果・竹山 (誓願寺) →平成21年度執行 (205万円)
- (2) 懐徳堂史跡の説明板の設置…五井蘭洲 (実相寺) →平成21年度執行 (20万)
- (3) HP懐徳堂史跡マップの作成 →平成20年度執行 (50万円)

II 記念出版 (総額152万円+556万2867円/予算714万円)

- (1) 『懐徳堂記念会百年誌』資料調査・座談会 →平成21年度執行 (60万円)
『同上』出版費 (188頁、1000部) →平成22年度執行472万5525円/予算480万円
- (2) 阪大リーブルの刊行助成 (大阪大学出版会) 4冊
 - ①墨の道 印の宇宙 ②江戸時代の親孝行 →平成20年度執行 (60万円)
 - ③市民大学の誕生 →平成21年度執行 (32万円)
 - ⑤漢学と洋学 →平成22年度執行31万1230円/予算32万円
- (3) その他 (通信料・執筆謝金等) →平成22年度執行52万2032円

III シンポジウム (総額 335 万 4531 円/予算 560 万円)

平成22年11月27日13:00~17:00 於: NHK大阪ホール

『総合探求: 21世紀市民の「学びのかたち」-懐徳堂記念会のこれまでの100年とこれからの100年-』

基調講演: 堺屋太一

パネリスト: コシノヒロコ、堺屋太一、津田和明、鷺田清一

司会: 森西真弓

コメンテーター: 湯浅邦弘

→ 事前申込者数: 547名 当日申込者数: 62名 当日参加者数: 493名

IV 懐徳堂記念会紹介映像作成費 (総額 99 万 7500 円/予算 100 万円)

※大阪大学寄付金より支出

V 式典・祝賀会 (総額 122 万 5759 円/予算 90 万円)

平成 22 年 11 月 27 日 於: CITY PLAZA OSAKA

→ 出席者数: 83 名

VI 資料展 (総額 59 万 2713 円/予算 132 万円)

「懐徳堂展-大阪“知”の源流-」 於: 大阪歴史博物館 8階特集展示室

平成 22 年 10 月 27 日 (水) ~12 月 20 日 (月)

→ 期間中常設展入場者数: 3 万 8000 人 (約 800 名/日)